

「ヒートポンプ研究会」の紹介



HEAT PUMP RESEARCH GROUP

空調・給湯分野において、エネルギーの利用効率が高く、地球温暖化対策の切り札として近年ますます注目を集めている「ヒートポンプシステム」。この「ヒートポンプシステム」の普及促進のため、昭和58年に中国地方を中心とした関係団体の協力を得て「ヒートポンプ研究会」を設立しました。

目的と概要

ヒートポンプ研究会の目的は、会誌「ヒートポンプとその応用 第1号[1983(昭和58)年発行]」に次のように記されています。「ヒートポンプはエネルギーの利用効率が非常に高く、欧米でもエネルギーの有効利用と石油への依存度を減らすためのホープとして大きく取り上げられており、その技術開発と普及促進は世界的に進められるようになった。このため、最近の技術開発のテンポは著しく加速されてきたので、最新の成果を早く正しく知り、実際の設備に応用していくことが強く求められるようになった。」

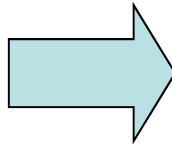
ヒートポンプ研究会は、このニーズに応えるため、ヒートポンプならびにその応用についての調査研究を行うとともに、その普及促進に寄与することを目的とし、17社の協力を得て発足するものである。」

現在では、「ヒートポンプとその応用」の発行のみならず、地球環境負荷の低減へ寄与することを目的に「蓄熱」、「エネルギーの有効利用」の普及促進活動も行っています。

研究会のメンバー

●設立時【1983(昭和58)年】

総合建設会社	5社
設計事務所	1社
設備工事会社	3社
メーカー	7社
電力会社	1社
<hr/>	
合計	17社



●現在【2020(令和2)年11月】

総合建設会社	14社
設計事務所	7社
設備工事会社	19社
メーカー	23社
ビル管理会社	2社
研究教育機関	2校
電力会社	1社
<hr/>	
合計	68(社・校)

活動内容

ヒートポンプと蓄熱の応用ならびにエネルギーの有効利用に関する以下の活動を行っています。

- 調査研究
- 情報交換(サロン 3回/年)
- 資料作成(会誌「ヒートポンプとその応用」の発行 1回/年)
- 講演会、見学会(全員研究会・施設見学会 1回以上/年)

国内主要研究機関・国立国会図書館・企業のほか、海外(英国・ロシア等)へも会誌を通じて情報提供を行っています。

ヒートポンプ研究会サロン



施設見学会



会誌「ヒートポンプとその応用」

実施例掲載件数 (第1号～第94号)

・事務所	331件
・サービス施設	83件
・医療・福祉施設	140件
・宿泊施設	33件
・教育施設	83件
・商業施設	62件
・生産施設	64件
・居住施設	15件
・複合施設	73件
・その他	29件

913件